



本部事務局からのお知らせ

◇令和 8 年度第 1 回理事会が開催されました。

令和 8 年度第 1 回理事会が、理事、監事出席のもと、5 月 11 日（月）午前 10 時から洛南身体障害者福祉会館において開催されました。

理事会では、審議事項として、(仮称)「かじやまち 2 番館」新築工事契約の入札実施について審議され、原案どおり承認されました。

これは、グループホーム「ふしみ寮」の増床と放課後等デイサービス「らいと」の移転先とする(仮称)「かじやまち 2 番館」新築工事契約の指名競争入札の実施を審議いただくものであり、具体的には、指名競争入札業者の選定、予定価格の決定、指名競争入札の実施要領などをご審議いただきました。

委員からは、指名競争入札業者について、現在の「ふしみ寮」との併設のメリットや地元との関係等についてご質問を受けるなど活発な質疑が行われました。

(審議事項)

第 1 号議案 (仮称)「かじやまち 2 番館」新築工事契約の入札実施について

(その他の報告事項)

令和 7 年度第 5 回理事会 (R8.3.19) 議事録

◇6 月から夏季休暇&ベースアップが始まります。

<夏季休暇>

1. 対象職員 令和 8 年 4 月 1 日現在在籍している正職員及び嘱託職員
2. 取得期間 令和 8 年 6 月 1 日から令和 8 年 10 月 31 日まで (5 か月間)
3. 取得日数 3 日

<ベースアップ>

1. 対象者 全職員
2. 金額 正職員・嘱託職員 基本給を月額 10,200 円引き上げ
パート職員 時給額を一律 62 円引き上げ
3. 実施日 令和 8 年 6 月 1 日

◇令和8年度事業説明会を開催しました。

5月19日、令和7年度の事業報告と令和8年度の事業計画についての説明会を行いました。

法人の移管から今年度で4年目を迎え、説明会も3回目を迎えました。今回は令和7年度に掲げた次の重点課題を中心に報告しています。

- 法人のスケールメリットを活かした地域との連携事業や福祉避難所としての取り組み、事業所の強みを活かした地域生活移行支援への取り組みについて
- 日中支援、日中活動の充実に向けた取り組みについて
- 専門性の高い職員の育成についての取り組み



今回の報告で特に関心が高かったのは住み慣れた地域での生活継続に向けた「地域生活移行支援」の取り組みについての内容でした。太秦デイサービスでは、障害の程度が比較的重度な方や2002年の開所当初から利用されている方が多く、ご本人とその家族の高齢化に伴う生活様式の変化に不安や悩みを抱えておられる方が多く在籍されています。また、これまで日中支援以外の福祉サービスを利用する機会がない方や少なかったご家庭も少なくなく、それぞれの過渡期を迎え、住み慣れた地域、自宅での生活継続への手立てに強い関心を寄せられていました。報告では太秦デイサービスを利用されている方の社会資源を利用した地域生活支援、地域生活移行支援への取り組みや成果について事例を示しながらお話しさせていただきました。

今後もそうした思いに寄り添い、法人の理念にある「障がいのある人とその家族が地域のなかで尊厳を保ちながら普通の暮らしができるように支援する。」を事業所の運営を通して体現出来る様に取り組んでいきたいと思っております。

令和7年度 事業計画について

事業目標

- 地域の中核的役割を担う施設作り
 - ・法人のスケールメリットを活かした地域社会と繋がる包括支援体制の拠点施設
- 日中支援、日中活動の充実
 - ・従来のプログラムを見直し、利用者ニーズ、心身の状態に応じた、個別機能訓練や日常生活動作訓練、スヌーズレン活動等の充実。
- 専門性の高い職員の育成
 - ・各種研修・勉強会への職員派遣、自立支援協議会への参画等

(太秦障害者デイサービスセンター：茗荷 真)

◇障がいのある方の生活をサポートすること

普段何気なく過ごす日常でも、障がいの種別や程度によっては困難な場面があります。

生活サポートセンターでは利用者さんが可能な限りバリアを取り除いて生活できるよう支援させていただきます。

訪問系事業は、大雑把に『家事』、『身体』、『移動』、『通院』等に分けられます。

『家事』は主に食事の提供や清掃、洗濯等を行います。朝夕に多いですが、利用者が病気等で通所施設を休まれた際の昼食対応など必要に応じて支援することもあります。

『身体』は主に入浴や更衣、排せつ等の介助、整容等を行います。『家事』と連続して組合すことも多く、身体に障がいのある方への欠かせないサポートです。

『移動』、『通院』は近隣スーパー等への買い物といったものから、映画鑑賞や美術館、外食等の同行。また、病院への往復やそれに伴う各種対応をサポートします。



細かい業務で言えばまだまだありますが、全てに共通するのは『利用者が望む生活』を『私たちがどうサポートするか』という点です。

主役はあくまで“利用者自身”であり、私たちはそれを支える『ヘルパー』に過ぎません。



仏像が好きな利用者さんと仏像展へ

一方で、利用者さんが望むことの中に「本人にとって不利益になるのでは?」、「それをかなえていいのか」と疑問が生じる内容のこともあります。

そのような場合は利用者さんの意向を中心にしつつ、関係機関とも連携した上で支援の方向性を決め、時には厳しい決断を勧める場面もあります。それでも私たちのサポートで利用者さんの行動を妨げるバリアが少しでも取り除かれ、僅かでも『望む生活』が営めるよう、これからも支援員・ヘルパー結束して支援してまいります。

(生活サポートセンター『とらい』: 久野 靖)

山科エリアTOPICS 【山科身体障害者デイサービスセンター】

◇ 『ナイトケア』 ～夕方から夜間の支援～

山科身体障害者福祉会館（生活介護）では、令和7年9月より『ナイトケア』の取り組みを開始しました。地域には、夕方から夜間にかけての見守りが必要なケースや、家族が夕方以降まで就労されているケースなども多いです。夕方の時間帯のニーズが高いことから、生活介護の活動時間を日中（9：40～15：45）と夜間（16：30～19：30）の2つの時間帯に分け、支援が必要な利用者を受け入れています。現在は3名の男性利用者さんが通所されており、正職員1名と非常勤職員2名で週2回木曜日と金曜日に、入浴・食事・プログラム・送迎のサービスを提供しています。

プログラムとしては、季節の創作活動・室内スポーツ（ボッチャ・モルック・ストラックアウト等）・カラオケなどに取り組んでいます。どの活動も皆さん楽しんで参加され、少人数のアットホームな雰囲気の中、ゆったりと過ごしておられます。

入浴では、普段ご自宅でシャワー浴しか出来ない方も、施設のお風呂では足をのばして湯船にゆっくり浸かることが出来るので、喜んでいただいています。

夕食後は会館喫茶で大好きなコーヒーを飲んで一息つき、普段とは一味違う時間を過ごしておられます。



ボッチャしてます

現在は週2回の開所となっていますが、利用希望があれば開所日を増やしていく予定です。また、日中からの延長利用など、今後も地域のニーズに合わせた施設運営に取り組んでいきたいと考えています。



季節の創作活動です



ほっこりお茶タイム



（山科身体障害者福祉会館：上長 智子）

NEW STAFF



山科身体障害者福祉会館



Shinnosuke Nagata (永田慎之助さん)

ANIMAL / 動物に例えると

犬です！

家で飼っている犬と性格が似ていて、人と関わるのが好きです。

ちなみに、キャバリアキングチャールズスパニエルという犬種を飼っています

MOTIVATION / モチベーション

休みの日にライブや音楽フェスに行つて、日々の疲れを発散しています。

また、他にもアメコミや乗り物(車やバイク)が好きなので、何も用事がない時はアメコミを見えています。

※アメコミ=アメリカンコミック

FOOD / 好きな食べ物

麻婆豆腐。

痺れる辛さが疲れた身体や心に沁みます！基本、月に2~3回は食べていると思います。

THOUGHT / 思い

どんな人でも対等な立場でいられて、利用者さんが生きがいや目標を見つけて充実した日常を送れるような支援をしていきたいです！

ACTOR / 好きな芸能人

甲本ヒロト。

自分にはない純粋な視点で物事を見ていて、何物にも流されない心の清らかさと、新たな学びを得られたり、心を支えてもらっています。

MESSAGE / 上司から一言

ニコニコしていてとても優しく、利用者さんからも親しみを持たれており、みんなに懐かれています。音楽も好きなようで、オンオフを上手く切り替えできています。今は入浴介助や送迎など独り立ちできるようがんばってくれています。

これからの活躍をご期待下さい！ (取材：支援センターらくなん：向井千賀子)